

大桑 第84号 11月号 まさたか



さかえく せかい か
栄区から横浜を変える！

JR大船駅・本郷台駅・港南台駅のいずれかで！

市議員2期目

栄区から、しがらみのない市政(政治)を実現します！

よろしくお願いします！

市議員としての約束

- 1、選挙の前も選挙の後も駅前に立ち続け新聞(広報)を配り続けます。
- 2、大桑まさたかの政務調査費を公開し続けます。
- 3、私たち市民が市政(政治)に参加する流れをつくります。
- 4、子や孫のために持続可能な横浜(社会)をつくります。

横浜市政

平成21年8月に中田前市長が任期途中で辞職されたのを皮切りに、平成21年9月に野田副市長が任期途中で辞職。平成21年10月には阿部副市長が任期途中で辞職というように相次いで、横浜市のカリスマが横浜市を去りました。

また、横浜市栄区においては、3人いる市議員のうち、私以外の2人の市議員が国会議員を目指して辞職されました(1人は8月におこなわれた衆議院選挙に、もう1人は10月におこなわれた参議院の補欠選挙へ)。

横浜市や栄区において、副市長や市議員の辞職が相次いだため、横浜市政に混乱が生じていることは間違いありません。非常に残念な状況ではありますが、私は市議員として横浜市や栄区の混乱を最小限に止められるよう着実に仕事をこなしていきます。また、私はしっかりと横浜市議員として活動を続けて行きます。今後も大桑新聞ともども、よろしくお願いします。

大桑新聞

第84号(11月号)

プロフィール

大桑正貴(まさたか)

連絡先

横浜市議員 大桑正貴(市政報告書)

〒247-0005 神奈川県横浜市栄区桂町688-4-601

TEL : 045-892-5187

FAX : 045-892-5187

<http://m-okuwa.net/>

E-mail : m-okuwa@mvg.biglobe.ne.jp

昭和48年(1973年)7月4日生まれ横浜育ち 血液型A型

横浜市立小山台小学校入学

大分県立大分舞鶴高校入学(1年次冬、転勤で横浜へ戻る)

神奈川県立大岡高校卒業

神奈川大学法学部法律学科卒業

平成14年(2002年)12月 アシスト株式会社退職

平成15年(2003年)4月 横浜市議員 初当選

平成19年(2007年)4月 横浜市議員 2期目当選

平成21年(2009年)9月 明治大学 専門職大学院卒業

趣味 : サッカー、バスケットボール

家族 : 妻、子(2人)、ママ(猫)、グリ(犬)

JR大船駅・JR本郷台駅・JR港南台駅、いずれかの駅で配布しております。

9月分の収支報告(収入は政務調査費55万円/毎月)

平成21年度9月現在の政務調査費累計残高は**85,223円**です。

今月の支出の内訳

研究会・研修会費	0円	会議費	0円
調査研究費	22,620円	事務費	20,853円
資料費	7,170円	事務所費	105,848円
広報・広聴費	301,816円	その他	0円
人件費	40,420円		

9月の支出合計は

498,727円です。

近況報告

平成21年第4回定例会が11月27日(金)から12月11日(金)で開催される予定となっています。また、4人いた副市長のうち2人が辞職したため、林市長は後任をこの定例会で提案したいと考えているようです。この件については、改めてお知らせします。

開国博Y150

平成21年9月27日(日)に閉幕した横浜開港150周年を記念してのイベントである「開国博Y150」について、様々な報道がなされています。最終的に入場料収入やグッズ販売収入などが確定するのは、年明けになりそうなのです。確定したい改めてお知らせをしますが、現時点での状況をお知らせします。

横浜市は「開国博Y150」の有料会場への目標入場者数を500万人に設定していましたが、最終的な入場者数が123万9,325人となりました。この数字を見るかぎり、入場者数の設定の仕方に問題があったと思います。

ただし、有料・無料会場を含めると、総来場者数は、716万6,300人となっています。約717万人が「開国博Y150」に行くことによる経済波及効果(市内経済の下支え)は大きいものがあることはいまでもないと思います。たとえば、ベイサイドエリア周辺(みなとみらい地区)の商業施設では、昨年以上の売り上げがあったようです。

次に、入場料収入ですが、8月末の時点で約24億円となっております。これも目標の45億円には届いておりません。しかし、「この24億円という数字は8月末時点の数字であること」と、「上で書いたとおり入場者数が目標を大きく下回っているので、今回のイベントを取り仕切った会社との契約金額(約34億円)を見直す」(事前に出されていた企画書と実際にやった企画が違っているということもありました)という点から、入場料収入が赤字になるのかについては、その推移を見守る必要があります。また、この契約金額の見直しについては、市会議員として横浜市に強く求めています。

最後に、「開国博Y150」のために総額157億円(市費負担82億円)という予算が使われることになっています。この157億円を入場料収入(45億円)や協賛金など(30億円)だけでまかなうことはできませんので、当初から「開国博Y150」は赤字だったともいえます。しかし、私は横浜開港150周年を記念しての事業は必要だったと考えています。ただ、入場者数をもっと伸ばせば結果的に市費負担が少なくなる可能性があったので、それに対する市会議員として責任を痛感しております。

インフルエンザの感染拡大

大桑新聞10月(先月)号でもお知らせしましたが、横浜市立の学校で学級閉鎖などが増加しております。今回お知らせする数字は、夏休みが終わってからの累計になります。10月中旬で休校が7校、学級閉鎖が847校1,414クラス、学年閉鎖が115校141学年となっております。

また、10月中旬の段階で横浜市は「インフルエンザ注意報」を発令しております。繰り返しになりますが、手洗い・うがい、人ごみでのマスクの着用をお願いします。